

長崎海洋産業クラスタ―協議会

再生エネ先進地 欧州視察

今月 実証海域ノウハウ学ぶ

NPO法人長崎海洋産業

クラスタ―形成推進協議会

(理事長・坂井俊之協和機

電工業会長、51社)は10

19日、海洋再生可能エネル

ギーの研究開発の先進地で

ある欧州を視察する。英ス

コットランドで実証試験海

域を運営する組織や、フラ

ンスで潮流発電の商用化を

目指す企業など情報交

換。県内実証海域でのビジ

ネス展開に生かす。

欧州視察は、日本貿易振

興機構(シエトロ)の地域

間交流支援事前調査事業の

一環。

協議会の会員企業や国、

県などの関係機関から計25

人が参加予定。スコットラ

ンドで実証海域を運営し協

議会の賛助会員でもある欧

州海洋エネルギーセンター

(EMEC)で運営ノウハ

ウを学び、関連企業や大学、

政府の関係者とも面会。フ

ランスでは潮流発電の商業

展開を準備している企業を

見学する。

五島、西海両市の本県3

海域は、洋上風力発電や潮

流発電の実験ができる国

の海洋再生可能エネルギー

―実証フィールドに選ば

れている。協議会は関連業

務の共同受注や技術開発を

目的に昨年発足、県の委託

で実証フィールドの運営

法などを研究している。長

崎市の事務局にはスコッ

トランド政府が出先機関

を併設し、連携を強めてい

る。

協議会の高比良実務局

長は「アジア展開に関心を

持つ欧州企業との連携も模

索する」と話している。

(田賀農謙龍)